中央大学学員会 49年白門会会報 第37号

発行日　平成30年12月8日(年2回発行)
発行人　山　﨑　厚　太
発行所　中央大学学員会49年白門会
印刷所　㈲東光美術印刷

東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階　サザンフラックス労務室

49年白門会のホームページ ➡ http://www.gakuinkai.com/hakumon49/

49会のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス ➡ hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

（題字・葛西聖司）

CONTENTS

1ページ　★「縁」に感謝　大谷洋一
2ページ　★友へのメッセージ　井上三史　★楽苦我喜　有山滋
3ページ　★2018年総会議案報告
4・5ページ　★2018年総会・懇親会レポート
6・7ページ　★会員からのエッセー「忘れられない○○○」を語る
8ページ　★新年会のあじ自慢　★事業部掲示板　★「デイライトの会」報告
9ページ　★「ゴルフ会」報告　★箱根駅伝予選会観戦記
10ページ　★「ホームカミングデー」報告　★編集後記

「縁（えにし）」に感謝

49年白門会会計監事　大谷　洋一

10年ほど前から会計監査の監事を拝命しています。会員の皆さんが納めた大事な会費ですので、領収書等の証憑類の裏付けに基づいて、金額や用途をしっかりと確認しています。幸い、予算を執行する役員の方々は真面目な人が多く、証憑類などはキチンと付けられていて、毎年滞りなくスムーズに監査業務は終了しています。

私と49年白門会との関わりは、2000年7月の第一回総会前の、準備会の段階からになります。きっかけは、2000年の1～2月頃でしたか、49年卒業生のOB会立上げ準備会発足と参加を呼びかける大学からの手紙でした。卒業以来、大学とは全く関わりなく過ごしていましたが、ボランティア活動的なこともたまにはやってもいいかな、リタイア後の居場所の一つになるかもしれないし、という軽い気持ちで参加しました。早いものです。以来、20年近く、関わり続けています。

「気」は伝染すると言います。「幸せな人たち」のそばにいると、自分も幸せな気分になってきます。私は49年白門会に集う方は「幸せな人たち」だと思っています。

まず、会場に自力で行けるだけの健康を保持しています。会費、行事参加費、交通費の支払いなど多少の経済力もあります。さらには、同期生とコミュニケーションを取ろうという気力もあります。また、自分のために自由に使える時間もあります。

いつも感じるのですが、行事に参加している方々の表情は明るいです。私が、49年白門会の行事を真っ先にスケジュール帳に書きこむのは、多分こういう「幸せな人たち」の持つ「気」に触れて、気分をアップしたいと無意識に思っているからだと思います。

それに、話題の豊富さも魅力です。49年白門会には学部を超えたメンバーが集っています。卒業後、多種多様な分野で活躍した人、現在も活躍している人がいて、様々な体験談を聞くことができ、自分の世界が広がって行くのを感じます。

ほとんどの会員は学生時代には面識のない人たちでした。しかし、同じ学舎で時間と空間を共有したという「縁」で大きな輪の中に入ることが出来たこと、母校に感謝しています。この「縁」、これからも大切にしていきたいと思います

最後に、折角会員登録をして年会費を払っているにも拘らず、行事に一度も参加されていない方に一言。

確かに、見ず知らずの大勢の会員が参集する総会、新年会へはどうも腰が引けると思われる方もいることでしょう。そこで提案です。まずは、小行事にトライしてみてはいかがでしょうか。お勧めはデイライトの会。参加人数は毎回10数名。アルコール抜きで、小洒落たお店でランチを楽しみ、付近の名所を小一時間散策という内容です。ランチタイムではより多くの人との会話を楽しむべく、席替えなどもして交流を図っています。ランチですからリーズナブルな値段。自分一人だけだったら、行くことはなかったような店（例えば歌舞伎役者がプロデュースした楽屋弁当を出す店など）に行くことができます。

小行事で知り合いができると、大きな行事への参加も気軽にできるようになるかもしれません。さあ、まずは、一歩踏み出してみませんか。お待ちしています。

友へのメッセージ

想いもしなかった生活

井上　三史（理工）　神奈川県 開成町

定年を迎えてただの人になったとき、どんな生活が待っているのだろうか。中学校の教員を定年退職したあとはなんとなく、平凡な年金生活になるのだろうと考えていた。

そんな折、中家村自治会から副会長（総務担当）を引き受けてほしいという話が舞い込んだ。特にやることがないよりはいいかと考え直し、引き受けることにした。このことがのちに大きな転機になるとはその時は想像もしていなかった。

副会長の仕事は、「自治会夏祭り」と「ふれあいパークゴルフ大会」の企画立案が主な任務で、あとは組長会議に提案する資料づくりや、自治会行事の運営である。これ以外に、日々の生活の中での要望・助言、時には苦情が寄せられる時もあり、その対応に追われた。

二年間の任期が終わり、のんびりしていると、自治会の代表だと名乗る三人の長老が自宅に訪れた。「自治会副会長の二年間おつかれさまでした。その経験を活かしてやってほしいことがある。」というのです。話を伺うと、開成町議会議員に出てほしいというのです。これには驚きました。これといった地位や名声もなく、ましてや政治には縁のない私でしたので、丁重にお断りしました。

その後も度々依頼が続きました。最後には「この地区には議員がいない。地域の声が町政に届かない。なり手が見つからない。あとはお前しかいない。」と。

私はどこか楽観的でお人好しなのか、頼まれるうちが花と思い、また、地域から望まれ、人の役に立つのであればと最終的には引き受けることにした。家族はみな反対したが、何とか了解をもらった。

それから準備に追われる日々が続いた。地域の温かいご支援とご協力のおかげで、苦しいときもあったけれど、花を咲かせていただいた。ありがたいことである。

現在、議員活動は4年目に入った。議会運営副委員長、広報広聴常任委員長を2年ずつおおせつかった。特に、広報広聴常任委員長の役職は、議会だよりの編集・発行と議会報告会・意見交換会の運営がある。ともに、町民と議会との懸け橋となる大事な仕事だと自覚して任務に励んでいる。また、総務経済常任委員会、教育民生常任委員会に2年ずつ所属し、それぞれの所管事務に関する調査・研究に関わらせていただき、勉強させていただいた。

昨今のニュースでは、地方議員のなり手がいないと聞く。地方議員は地方自治体の最終意思決定に関わることになり、責任は重いものがあるが、やりがいのある、ある意味たいへん面白い仕事だと今の私はそう思っている。

息抜きはパークゴルフ

自治会副会長のところで、「ふれあいパークゴルフ大会」の企画立案の話に触れたが、この時のご縁で、地元のパークゴルフ同好会「緑会」の会員になり、パークゴルフを始めた。

その後、開成町パークゴルフ協会に所属してパークゴルフを楽しんでいる。始めてから6年目の今年、まさか、神奈川県パークゴルフ協会連合会の事務局長をおおせつかり、全国大会の運営にかかわることになるとは考えもしなかった。

まさに、人生は小説より奇なりである。

楽苦我喜（らくがき）

有山　滋（商）　東京都 国分寺市

介護&ボランティア活動&白門会

最初にボランティア活動したのは30代半ばだったと思う。当時私は大手自動車メーカーの関連会社に勤務していた。母が毎週日曜日に近くのキリスト教会の礼拝に通っていた。そこには重度身体障害のある女性も来ていて、その女性の送迎を頼まれ、初めて車いす介護をさせていただいた。2年ぐらい続けたように思う。

その後46歳で会社を早期退職した。理由は親会社の業績が思わしくなくなってきたことと、私自身の第2の人生は海外移住と考えていた。しかし暫くして、母が最初の脳梗塞で倒れ後遺症が残り、海外移住はあっけなく挫折した。それが親の介護の始まりだった。もちろん、両親の介護を19年もする事になるなんて想像もしなかった。

2度目の脳梗塞発症で母には全ての面で介助が必要になり、もちろん排泄介助も当たり前のようにやった。確かに辛いことや悲しい事も沢山あったが、毎日一所懸命に生きていたように思う。介護は初めての経験であり周囲に知り合いもなく孤立していた時、市役所から認知症の家族会を紹介された。月1回定例会で悩みを聴いてもらい自分だけでなく、皆大変苦労されていることが分かった。

両親が相次いで他界して数年が過ぎ、現在はボランティア活動と同窓会に積極的に参加している。高齢者家族交流会の世話人、市地域福祉推進協議会委員、高齢者見守りサポーター、認知症サポーター等。将棋のボランティア活動は特別養護老人ホーム、デイサービス介護施設、在宅高齢者の自宅と3ヵ所で行っている。

2年前から白門会にも出来るだけ参加するようにしている。49年白門会は皆同じ年代なので、何かと話し易く毎回新しいが友人出来るのは楽しい。白門会国分寺支部では今年から幹事も引き受け活動している。これからも出会いを大切にして、皆さんと楽しい時間を過ごす事が出来ればと思っている。また、介護で悩んでいる人がいたら少しでもお役に立てれば幸いである。

【49年白門会2018年総会】

2018年7月7日（土）に2018年の総会が御茶ノ水の「お茶の水ホテルジュラク」で開かれました。任期満了の山﨑会長が選任され、同好会の新設もあり2年後の設立20周年に向けて力強く動き始めました。

■第1号議案

2017年度事業報告

1・各行事

(1) 2017年4月7日（金）
第16回　49年白門ゴルフ会（15名）

(2) 2017年4月15日（土）
第7回　囲碁将棋同好会（7名）

(3) 2017年6月10日（土）
総会「お茶の水ホテルジュラク」（43名）

(4) 2017年7月15日（土）
第8回　囲碁将棋同好会（4名）

(5) 2017年8月1日（火）
第2回　デイライトの会（12名）

(6) 2017年10月7日（土）
第9回　囲碁将棋同好会（4名）

(7) 2017年10月14日（土）
第94回箱根駅伝予選会応援（2名）

(8) 2017年11月26日（木）
第3回　デイライトの会（11名）

(9) 2018年1月3日（水）
第94回箱根駅伝　復路応援（10名）

(10) 2018年1月27日（土）
新年会「プリオール」（54名）

(11) 2018年2月10日（土）
第10回　囲碁将棋同好会（5名）

(12) 2018年3月23日（金）
第4回　デイライトの会（16名）

2・中央大学49年白門会会報発行
・第34号・2017年5月13日（土）
・第35号・2017年12月9日（土）

3・中央大学49年白門会常任会活動
・第5回・2017年4月27日（木）
・第6回・2017年8月29日（火）
・第7回・2018年1月24日（水）

4・中央大学49年白門会役員会活動
・第100回・2017年4月8日（土）
・第101回・2017年5月9日（火）
・第102回・2017年9月30日（土）
・第103回・2017年12月9日（土）

5・会員数
会員総数（279名／2018年3月31日現在）
2017年度新入会員数　2名

■第2号議案　2017年度収支決算報告について（2017年4月1日～2018年3月31日）

〈収入の部〉　（単位：円）

費目	決算額	概要
会費収入	404,000	会費　134名×@3,000円＝402,000円 入会金　2名×@1,000円＝　2,000円
懇親会収入	668,000	総会　43名×@8,000円＝344,000円 新年会　54名×@6,000円＝324,000円
雑収入	222,000	学員会活動補助金100,000円、会報コンテスト優秀賞50,000円、支部活性化支援金30,000円、大学からの祝儀20,000円、講演会講師料補助金12,000円、学員会総会補助金10,000円
収入計	1,294,000	

〈支出の部〉　（単位：円）

費目	決算額	概要
通信費	156,709	案内状発送費144,307円、他
事業費	174,368	会報印刷34号56,700円、35号117,000円、他
懇親会費	654,027	総会325,824円、新年会328,203円
事務費	10,352	事務局コピー代他
交際費	10,000	他支部への祝い金
雑費	32,572	送金手数料、振替口座手数料他
支出計	1,038,028	
収支差額	255,972	
前年度繰越金	113,548	
次年度繰越金	369,520	

■第3号議案

2018年度事業計画案

1・「中央大学49年白門会」事業基本計画
同期相互の親睦・交流を推進する。会創立20周年（2020年）並びに卒業50周年（2024年）に向け新規会員の増強活動と同好会活動の活性化を行う。

2・2018年度事業計画（案）

(1)「第17回　49年白門ゴルフ会」
2018年4月6日（金）

(2)「第11回　囲碁将棋同好会」
2018年4月28日（土）

(3)「総会・懇親会」
2018年7月7日（土）

(4)「第12回　囲碁将棋同好会」
2018年7月14日（土）

(5)「第5回　デイライトの会」
2018年8月1日（水）

(6)「会員との意見交換会」
2018年9月11日（火）

(7)「第27回ホームカミングデー」
2018年10月7日（日）

(8)「箱根駅伝予選会応援」
2018年10月13日（土）

(9)「第18回　49年白門ゴルフ会」
2018年10月26日（金）

(10)「第13回　囲碁将棋同好会」
2018年10月27日（土）

(11)「第1回　歩こー（る）会」
2018年11月17日（土）

(12)「第6回　デイライトの会」
2018年12月

(13)「新年会」
2019年1月26日（土）

■第4号議案

2018年度予算案

（2018年4月1日～2019年3月31日）

〈収入の部〉　（単位 円）

費目	予算額
会費収入	445,000
懇親会収入	672,000
寄付金収入	50,000
雑収入	170,000
収入計	1,337,000

〈支出の部〉

費目	予算額
通信費	145,000
事業費	420,000
懇親会費	672,000
事務費	25,000
交際費	40,000
雑費	20,000
支出計	1,322,000
収支差額	15,000
前年度繰越金	369,520
次年度繰越金	384,520

■第5号議案

会長に山﨑厚太氏（経）を選任

■第6号議案

2018年度の運営体制

◆新任
幹事　渡邉秀和（文）

◆再任
副会長　兼　広報部長　大竹力三（法）
副会長　山﨑司平（法）
　　葛西聖司（法）
幹事長　原　伸正（経）
事務局長　益田耕二（法）
事業部長　千葉幸嗣（商）
会計部長　兼
会員増強委員会副委員長　黒澤義己（法）
副幹事長　柴田　明（理）
　　小澤秀敏（経）
　　高橋和幸（法）
　　只縄治幸（法）
　　根本慎一（文）
　　馬場安德（法）
　　宮川　保（経）
　　安室澄子（文）
会計監事　石川晶雄（経）
　　安藤正幸（経）
　　大谷洋一（法）
幹事（デイライトの会）　井美知子（経）
幹事（ホームページ）　肥沼敏子（理）
幹事（歩こー（る）会）　福松征男（法）
会員増強委員会委員長　中島章夫（経）
会員増強委員会副委員長（ゴルフ会）　高木一成（理）

◆任期満了
副幹事長　渡邉秀和（文）

我ら前期高齢者 ボ～ッと生きてません!!

悪質商法被害防止で講演
熱弁の鈴木春代先生

司会は原幹事長

選任された山﨑（厚）会長

参加者の皆さん（敬称略）

有山　滋（商）	黒木兼一郎（商）	丹下照己（経）	福松征男（法）
安藤正幸（経）	黒澤義己（法）	千葉幸嗣（商）	藤本真也（法）
井美知子（経）	後藤徳彌（経）	照木信久（理工）	古木進一（理工）
石川晶雄（経）	笹尾憲司（経）	中島章夫（経）	堀井信行（理工）
岩城和裕（理工）	三溝芳春（経）	中山和實（法）	堀籠恭一（経）
梅田真人（経）	柴田　明（理工）	成毛　誠（法）	増田勝美（法）
大竹力三（法）	杉本和久（法）	根本慎一（文）	益田耕二（法）
大谷洋一（法）	関根良一（法）	野田光昭（理工）	三橋克美（法）
岡部立道（法）	高木一成（理工）	橋本幸一（法）	宮川　保（経）
小澤秀敏（経）	高柴富士夫（経）	橋本美文（経）	安室澄子（文）
加藤正治（法）	高橋和幸（法）	蓮実俊弘（法）	山﨑厚太（経）
加納幹郎（経）	只縄治幸（法）	馬場安徳（法）	山﨑司平（法）
木村　眞（法）	田仲正道（法）	原　伸正（経）	吉岡義典（理工）

七夕の7月7日（土）に開かれた49会の総会・懇親会。総会後には「悪質商法詐欺」に遭わないための講演があった。懇親会では山口県の名産がプレゼント。楽しい2時間でした。

西日本では大雨特別警報が出され豪雨だというのに、東京は夏の日差しがまぶしい土曜日。会員52名が御茶ノ水の「お茶の水ホテルジュラク」孔雀の間に集まりました。

定刻の12時に原伸正幹事長の司会で総会がスタート。山﨑厚太会長の「卒業60周年が記録ですが我々は70周年を目指しましょう」という挨拶に続き、山﨑会長が議長になり議案が審議されていきました。

千葉幸嗣事業部長から2017年度の事業報告、黒澤義己会計部長から2017年度の会計収支決算が報告され拍手で承認されました。

再び千葉部長から2018年度の事業計画が説明され、同好会「歩こー（る）会」の新設の話がありました。

黒澤部長から2018年度の収支予算案が説明され拍手で承認されました。今期は任期満了に伴う会長の選任がありましたが、会長選考委員会が山﨑会長を次期会長に推薦し、これも拍手で承認されました。

大丈夫が一番危ない!!

総会終了後、東京都消費生活総合センターの消費者啓発員の鈴木春代先生を講師に、「高齢者向け悪質商法被害防止～あなたの大丈夫が一番危ない！～」という講演がスタート。

悪質商法の被害経験では被害そのものに気づいてない高齢者が多くいるという話にドキッ！　狙われる不安は、健康（不安）、金（心細さ）、孤独（寂しさ）の3Kです、という言葉にウーン納得！　ハガキによる督促状などは、本人宛でなく奥さま宛に来るという説明に、そういえば……　等々思い当たる節が出てくる、出てくる！　自分は詐欺にあうはずはないと思っていたが、実は「自分は大丈夫ではない」ということが身に染みた30分でした。

あっという間の2時間

1時から懇親会が千葉事業部長の司会でスタート。山﨑会長の挨拶の次になんと予定外に久野修慈学員会会長が来訪。挨拶をいただきました。続いて48会の榎本会長からも挨拶をいただきました。

乾杯の発声は大竹副会長。「犬も歩けばボーン（骨）に当たる」という話から総会、新年会、デイライトの会、ゴルフ会、囲碁将棋の会などの集いに参加しましょう、と乾杯の発声。ランチタイムで皆さんお腹がペコペコ。各テーブルにあったお寿司はあっという間になくなってしまいました。

宴も中ごろに「デイライトの会」の井美知子さん、「ゴルフ会」の高木一成さん、「囲碁将棋の会」の黒澤義己さんから会の状況のお話があ

数十年ぶりの懐かしい顔！気持ちは学生時代に逆戻り

左から後藤、石川、根本、福松さん

左から只縄、加納、中山、益田、小澤さん

左から吉岡、野田、柴田、古木、岩城、堀井さん

左から黒木、高木、大竹、三溝さん

左から大谷、成毛さん

左から田仲、加藤、橋本(美)、高柴、井さん

左から千葉、木村、高橋、益田さん

左から堀籠、黒澤さん

左から安藤、原、宮川、黒澤さん

素敵な笑顔をありがとう。また来年も会いましょう！

左から岡部、橋本(幸)さん、榎本48会支部長

左から関根、岡部、橋本(美)、笹尾さん

左から藤本、安室、三橋、有山、梅田さん

左から只縄、中島、小澤さん

左から馬場、安室、蓮実、杉本さん

左から梅田、笹尾、大谷、照木さん

り、新設の「歩こー（る）会」の世話人の安室澄子、福松征男さんから秋には第1回を実施するお話がありました。

お腹も酔いも満足感に達したころ恒例のじゃんけん大会がスタート。今回の商品は山口県産のお土産と黒木兼一郎さんからの焼酎・黒霧島、葛西聖司さんからの京都祇園の舞妓の名前入りうちわが並びました。宮川保さんの繰り出すじゃんけんに勝ち残った人が次々と賞品をゲット。特に目玉商品の日本酒「獺祭」は井さんと藤本真也さんがゲットしました。井さんがその場で開封し皆さんにおすそ分け。おいしいお酒でした。

会も終盤、高橋和幸カメラマンの指示のもと記念撮影になりました。

その後、恒例の石川晶雄さんリードの「中大節」で会場を練り歩き、根本慎一さんのリードで応援歌と校歌を肩を組んで歌いました。

最後は中大理事で副会長の山﨑司平さんによる万歳三唱でめでたく締めっ！

今回も高橋カメラマンと中島章夫会員増強委員会委員長が2時間にわたり撮影していただきました。

2次会は御茶ノ水で一番安い（!?）「サイゼリア」に26名が参集。4時半過ぎに解散になりました。（広報部）

万歳三唱で締めてくれた山﨑(司)副会長

11月17日(土)に行われた第1回「歩こー(る)会」の様子は49年白門会のホームページに掲載されております。

会員からのエッセー

「忘れられない○○○○」を語る

今回のテーマは「忘れられない○○○○」ということで、失敗談や友達、学生時代の思い出など、今でも心の片隅にじっとしまっていることを書いていただきました。もうすぐ70歳、あれは何年前の事だったのでしょう…。

知ってるかい山男達の事

菅原　守（経）神奈川県横浜市

俺達は山男さ 花山育ちの男達だから 今から53年前築館高校に入学した。その中の6人が自転車で通学するようになった。俺はその一人学校まで片道18キロ　雨の日風の日夏の暑い日冬の雪の日も良く通ったものだ 道はでこぼこの砂利道 車が通ると埃が舞い目も開けられない衣服は埃と汗まみれ　大変な事だがホコリを感じたりした 帰路に見る田園風景と遠くに見る栗駒山が好きだった　当時の生徒会長佐藤一さん元気かな　会って一杯やりたいね。

妻に誕生日のプレゼント

妻に誕生日を前にして、日頃の感謝を述べて一万円渡しました　昨日妻がバッグを買いましたと見せてくれました　ねずみ色で地味だねと言うと　藤色のブラジャーも買いましたと言う 珍しくちょっと派手 そしたら妻がセクシーでしょだって。

私の誇り

私の誇りは400cc献血回数が10回を超える事　他人の役に立てると明確な意思で献血をしました。

エキストラの楽しみ

大久保光夫（経）東京都大田区

私が初めてエキストラとして参加したのは、22年前のことです。フジテレビの浅見光彦シリーズ第三弾の「唐津佐用姫伝説殺人事件」で、7月に撮影し、11月に放映されました。浅見光彦役は榎木孝明、その母親役は野際陽子、マドンナ役は南野陽子でした。

九州で行われた、陶芸家草間完治の葬儀式場という設定でしたが、撮影したのは東京郊外でした。スタッフに指示されるまま焼香の列に並んで待っていると、後ろが騒がしくなったので振り返ってみると、主役の榎木孝明がすぐ後ろについていました。主役の配置が整ったところで撮影開始です。このお焼香のシーンと、その後の主人公浅見光彦と橋本功扮する刑事が話し合っている場面の後ろを通り過ぎるところなどで、私が映っていました。

撮影が終わった後は、エキストラ全員とスタッフとで炊き出しのカレーライスを食べたのを覚えています。

初めて撮影の舞台裏を覗くことができ、またほんの少しですが参加することができたのは新鮮な感覚で、忘れることはできません。

エキストラになるきっかけは、小説の主人公「浅見光彦」の後援会会員になったことです。その後も、同じシリーズでエキストラ募集の案内をいただき、三回参加し、二回テレビに映っていました。

西武線池袋駅ホーム

長澤　寛（文）埼玉県さいたま市

昭和45年入学して間もなく私は、体育の授業で剣道と陸上を履修することになった。今でも忘れられないのは、1時間目に剣道のある朝の通学である。西武池袋線沿線にいた私は、池袋駅で乗り換え地下鉄丸ノ内線の御茶ノ水駅を利用していた。

西武線の準急は4両編成で石神井公園からの混みようは半端でなく、竹刀と体育着の入ったマジックバッグを持っていたがマジックバッグは人混みの中で私の手元から離れて行方不明になることが多かった。

椎名町駅を過ぎると山手線を跨ぐ急カーブのある地点で必ず信号待ちをするため傾いた車内で人圧に押され竹刀は撓(たわ)んでしまったりした。

そんな都会の重圧から解放されたとき、駅のホームにあったスピーカーから藤圭子さんの歌が聞こえてきた。「あなたの愛があればこそネオン化粧にかくしていきるのよ」なぜかほっとし、とても癒やされた。

改札から丸ノ内線への通路も人で混雑していた。途中の階段上の壁面には「秩父夜祭り」の神輿と花火の写真があって、「今日もがんばれよ。」といつも励まされていた。やっと、地下鉄のホームに辿り着いても、またまた竹刀とマジックバッグはどうなるかわからない。列の先頭にいたって、ドアが開くやいなや、列の後からの強烈な圧力で、慣れないときは反対側のドアまで弾き飛ばされた。こうして無茶苦茶な混雑の中私は御茶ノ水駅まで運ばれて行った。

鉄腕アトムがやって来た

笹尾憲司（経）埼玉県さいたま市

「人間五十年、下天のうちを比ぶれば夢幻の如くなり」本能寺の変の信長最期の場面で良く用いられる名セリフです。また「人生百年の時代か！」保険会社が喜びそうな、テレビのコマーシャルです。現代になり、日本人の寿命がおよそ二倍になったことを喧伝しています。

今や世界はIOT.AI.EV.ビットコイン、ドローン等百年に一度と言われる産業変革の時代が到来しました。手塚治虫の鉄腕アトム宜しく、ドローンに乗り世界を股にかけ、貿易や旅行が出来る「アトム」の世界が始まろうとしています。

ところが反面、世界ではトルコのクルド族、内戦によるシリア難民の増加、ミャンマーのロヒンギャ宗教対立等、国を持たない民族が如何に悲惨かを如実に表しております。

日本にも北朝鮮による拉致被害者の悲惨な現状が有ります。早期に被害者全員の帰国を実現させねばなりません。

同じ地球上で、IOTやAIを駆使しアトムの世界を実現しようとする正にその時、トルコ、シリア、ロヒンギャの難民や拉致被害者の問題が同時進行しております。

手塚治虫が描いた鉄腕アトムの空想社会を人類の英智と技術の結集で実現しようとしている今こそ、その英智と技術を飢餓と虐待に苦しむ難民や拉致被害者に目を向けるべきだと思います。

いま平和でも、明日も平和と言い切れる人は居ないのですから！

トラブル・トラブル

照木信久（理工）神奈川県横浜市

中央大学音楽研究会スィング部トランペット科を49年に卒業し、直ぐに同期とマンデーナイトジャズオーケストラを立ち上げ、44年間ラッパ

とホラを吹き続けています。

年間10回ほどのライブ及びコンサートでジャズ三昧。歩んできた人生に迷いはありませんが、道に迷います。バンド活動でのトラブルはたくさんあります。

(1) 昔、センターマイク・ソロで緊張のためトラブルは多かったです。

ソロ32小節で何回も同じフレーズが出てきたため、吹き始めた途端最後のフレーズに飛んでイスタンブール。気分はルイアームストロングでニッチモ・サッチモいかず。

(2) 昔は血圧が低かったため、要注意でした。横浜の仕事、ステージでソロを吹き終えたら、貧血で大国に昇る良い気分に。気が付いたら床で昼寝。

(3) 演奏会・ライブ後の打ち上げ・飲み会は要注意。JRの網棚にラッパを置き忘れ、3回紛失。2回は直ぐに発見されましたが、3回目は横浜駅で置き忘れ、半年後に千葉の警察署で受理。ラッパのケースに名刺を入れていましたが意味無し。

現在、ラッパは網棚に乗せず、足の間に挟んでいます。

ラッパを吹けばストレス解消！

(4) リサイタル本番直前、楽屋での弁当。ケチャップ入のカプセルの開け方がわからず、間違って自分に向けプッシュ。タキシード用ドレスシャツが真っ赤に染まり、青くなりました。たまたまソロはブルー・アンド・センチメンタル。

(4) リサイタルでタキシードのズボンを間違えて色違いのズボンを持参。本番5分前にワイフに持ってきてもらいセーフ。結婚してから44年、誰もが羨む仲難しい関係です。

玉原高原・鹿俣山

田中　明（経）　群馬県沼田市

熊の子保育園の理事長に就任して三年になりました。十月に実施した園外保育で、玉原高原・鹿俣山（標高1637m）トレッキングの思い出は、とても爽やかで楽しいものでした。朝、おにぎりを二個リュックに詰めて登園し、保育園のマイクロバスに同乗させてもらい玉原高原に向かいました。

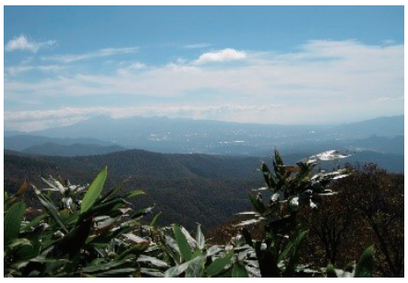
スキー場の駐車場よりも先のペンション村付近に車を停めて、鹿俣山登山口へブナ林を抜けて歩き始めました。前日の雨で足元は少し濡れていましたが、気持ちのよいスタートでした。倒木には苔が生え、ところどころにキノコが生えていました。子供たちは、落ち葉や木の枝を手にしながら楽しそうに歩いていきます。私はしんがりを務めました。

登山道はしばらくブナ林の中を緩やかに登り、スキー場ゲレンデに出た後すぐにまたブナ林の中に入り、だんだん急になってきた。楓の紅葉が始まっていて綺麗でした。登山道の脇には笹が茂り、葉や枝を手にとって進む子もいました。

昼ごろ山頂に着き皆でお弁当を食べました。ゴミをその場に捨てないように、登山のマナーを守って下山しました。途中からスキーゲレンデへ降りるコースを選び休憩も取りました。一口アイスのおやつも配られて元気いっぱい。最後のゲレンデ初級コースをラベンダー畑まで勢い良く走る子供たちもいました。幼い子供たちの健脚ぶりには目を見張るものがありました。

高校生の時に丹沢山を縦走し山々の絶景と、雄大な富士山の姿を眺望し、生きる力をもらったことを思い出します。

子供たちがブナ林の中を駆け抜け、自然とふれあい、山頂からの眺望を記憶にとどめ、それが将来の生きる力になったらいいなと思いました。



鹿俣山の頂上から

仲間

橋本幸一（法）　東京都八王子市

大学1年時、国際関係論のゼミを取った。キューバ危機、ベトナム戦争そして安保闘争の中で育った私は、国際関係に関心があった。このゼミは経塚作太郎教授が担当する経塚ゼミ、多くの仲間と出会った。山﨑司平君もその一人。

ゼミで同君以外にも何人かと親しくなり卒業後も付き合う様になった。その仲間は岡部君、関根君、松田君、松本君と私の5人。岡部君はタバコも吸わないのに専売公社に就職し、アメリカへ赴任をした後、10数年前に退職し、今は悠々自適の生活を楽しんで（苦しんで）いる。関根君は行政書士となり数年前まで事務所を経営していたが、65歳を機に息子に譲り海外への旅に出た。彼は大学2年より1年間休学し海外を放浪したので、この道を再度たどった。松本君は卒業後ロンドン大学に留学し、現地でロイター通信社に勤務した後帰国、共同通信社に最近まで勤めた。現在は執筆活動を行っており、昨年には英国での経験を活かし「人間チャーチルからのメッセージ」（小学館スクウェア）を出版している。私は宝祥寺でのいそ弁を経て独立し現在も八王子で弁護士事務所を経営している。

みんな様々な人生を歩んで来たが、みんな健康でいることが何よりだ。松本君が帰国してからは年一回は会うことにしており、今年はホームカミングデーで会う予定でいたが、松田君、松本君が所用の為来られず残念であった。近々別の機会を設けるつもりである。

知り合った時は、半世紀後も付き合っているなど想像だに出来なかった。みんな年相応に老け、衰えたが、多分今後も人生終わるまでこのような関係が続くであろうし、続くことを願っている。

仲間に出会えたのは経塚ゼミ、中央大学のおかげ。感謝している。

家族写真を撮りましょう

会員特別価格通常 3万円→ 1万円
（CDデータ、A4プリント込み）

PACO STUDIO
高橋和幸

TEL　03-3341-5274
携帯　090-4812-9865

第5回デイライトの会

2018年8月1日(水)

西日本の集中豪雨、記録的な猛暑、逆走した台風12号が日本列島を襲った7月がやっと終わり、猛暑での幕開けとなった8月1日（水）、JR品川駅に16名が集合しました。立っているだけで汗がしたたり落ちるほどの暑さでしたが、会場は昨年と同じ、駅からすぐの品川プリンスホテルの「和ダイニングいちょう坂」。10名ずつのテーブル2列をスクリーンで仕切り、個室風にしていただきました。

まずは各自がお寿司や天ぷら、サラダなどお好みの料理や飲み物を取りに行き、テーブルに色とりどりの料理が並んだところで自己紹介がスタートです。遠方の群馬や東京近郊から、初参加、リピーター、女性も3名の参加です。それぞれのテーブルで食事が始まり、会話も大いに盛り上がりました。会話がはずめばお腹もすき、のども乾くので、連日の猛暑で衰えた食欲も一気に回復。

料理を取りに行った方から、「海老の天ぷらの揚げたてが出ましたよ」、「コーヒーが新しくはいってますよ」、「マンゴープリンがたくさん出てますよ」などと声がかかると、料理やデザート、飲み物を取りに行き、散歩もままならない暑さでの運動不足も少しは解消されたのでは。

途中で席替えをしたので、さらに新しいメンバーとの会話がはずみ、あっという間に終了の3時に。「この暑さでは、こういう催しがなければ外出なんかしないよ」というお声もいただきました。猛暑の中のご参加、ありがとうございました。

総会や新年会は50～60名の参加者なので、初めての参加はためらう方もおいでかと思いますが、平日の昼間に3千円以内の会費でアルコール抜きという女性も参加しやすい設定で、「安く・楽しく・健康に」をモットーに企画しています。お気軽にご参加いただければと思っております。

参加者の皆さん（敬称略）

前列左から
梅田真人　岡部立道　新谷眞人
安室澄子　井美知子　小泉純子
後列左から
中島章夫　田中明　有山滋　大谷洋一
柴田明　舟津清和　宮川保
菅原守　井上三史　福松征男

次回以降も皆さまに楽しんでいただけるような企画をご案内したいと思いますので、ご要望やアイディアも大歓迎。また、平日はまだお仕事という方もおいでなので、土日の開催も検討しております。

（幹事　宮川　保・井　美知子）

新年会恒例の各都道府県の名産品プレゼント。9月に発生した北海道胆振東部地震の復興応援として北海道産のお土産を揃えました。北海道といえば、ワイン、鮭、イカ、チーズと名産品が目白押し。

◎ロイズの生チョコレート
北海道土産で大人気のロイズのチョコレート。数種類の味をプレゼント。

◎じゃがポックル
じゃがりこをもっとフライドポテトのようにした感じの食感で、程よい塩味が止まらない。他のポテトのお菓子では味わうことのできない食感でハマること間違い無し！

◎鮭とば
鮭を半身におろして海水で洗って潮風に当てて干したもの。かめばかむほど味が出る珍味。硬さがあるため、歯の弱い人は注意。

◎十勝ワイン
モリオ・マスカット種を主原料として、果実香のバランスのとれた辛口でエレガントなヴァンテージワイン。

◎いかめし
全国駅弁ランキングでもトップクラス！ 北海道森町の『いかめし』。プリプリのやわらかいいかの旨みがギュッとしみ込んだもち米がもちもちで最高です。

事業部掲示板

新年会

日時　平成31年1月26日（土）
12時～14時

場所　「レストラン　プリオール」
東京都千代田区神田駿河台3－11－5
中央大学駿河台記念館1F
TEL　03－3219－6085

会費　6千円

67歳で、新築住宅を購入しました（笑）

私たちは、まだまだ若い！
人生の新しい転換点も、愉しいかな！
今は、自由な社会です！

増澤　繁

千葉県柏市常盤台 16-3-2
固定電話　047-161-2868
スマホ　080-3712-1125
メルアド　kayoshige8@icloud.com

行政書士白門会の会長です。
岸　伸晃（KISHI Nobuaki）

○特定行政書士：許認可の申請代理から、行政のセルフ・コントロールを求める不服申立の代理まで行います。
○入国管理局申請取次者：外国人に代わって入国在留関係の申請を行います。
○非紛争的な相続・家族信託・事業承継も扱います。

詳しくはwebサイトで、行政書士白門会を検索→下にスクロールして、行政書士岸伸晃事務所をクリックしてください。

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内3丁目16番39号ワコー新高円寺マンション403
ご相談は、**090-8775-6446** にお電話をお願いいたします。

第18回49年白門ゴルフ会

目標の5組20人を突破

2018年10月26日(金)

ゴルフ会会長　高木　一成

第18回「49年白門ゴルフ会」を6組21名の参加で開催いたしました。2009年5月に1組4人でスタートしたこの大会、2、3年は2組ぐらいでしたが、いつかは5組20人のコンペを目標に年2回実施してきました。新年会や総会でゴルフをする人に声をかけた結果、少しずつ参加する人が増え、ついに20名を突破しました。

今回初参加者は3名ですが、特に加納幹郎さんには名古屋から新幹線で前日より乗り込んできて頂き感謝に堪えません。勿論、毎回宮崎よりお土産品持参で参加の黒木兼一郎さんには頭が上がりません。

とは言え、良いことばかりではなく、第1回大会から参加して頂いていた荻原紀行さんが2年前に膵臓がんを発症し病と闘ってこられましたが、この9月に天国に召されてしまいました。

スタート前に黙祷をして、健康に留意し全員が来年も参加できるよう誓い、INとOUTコースに分かれて9時半からプレーに入りました。

天気は薄曇りで風もなく暑くも寒くもない絶好のゴルフ日和。午後からは日も差してきて、所々紅葉している樹々を照らします。スコアはともかく、4時前に無事終了。

今回のトピックス①優勝者はなんとハンデキャップ6なれどベストグロス82の黒木兼一郎さんでした。「同伴者の苦労の様子を横目に黙々とプレーしたところ、久しぶりの良いスコアで優勝できました。同伴者に恵まれたのかな？　気分良く帰れます」という優勝の弁に拍手喝采でした。

②前回までキャディー無しでしたが、寄る年波に勝てずキャディー付きとしました。③参加者多数でチョコレートの集まりが多くなったので、ドラコン&ドラチョロを設定した所、栄えある第一回ドラチョロは山崎司平さんと細田邦男さんの頭上に輝きました。

今後の大会目標は①飯能パークカントリーで後5年は継続して続けられるように、小間使い兼世話役の小生・高木一成が健康で元気で居ること。②どこかで泊まり込みの宴会付きゴルフ大会を開催出来ることです。

次回は来春4月5日（金）を予定してます。皆様の参加をお待ちしてます。

参加者の皆さん（敬称略）

高木一成　清水隆敏　長島秀行　加納幹郎
甲田隆夫　加藤正治　野田光昭　細田邦男
小澤龍次　根本慎一　斉藤栄一
黒木兼一郎　三橋克美　黒川憲治
石井和夫　日野美次郎　上村朝美
田仲正道　南増明　山崎司平　大竹力三

ハラハラドキドキ

箱根駅伝予選会観戦記

2018年10月13日(土)

会員増強委員会委員長　中島　章夫

昨年思いもよらぬ3位で大いに盛り上がった箱根駅伝予選会、昨年の二人だけの応援と違い、今年は10人余の参加者での母校応援、ハラハラドキドキだった。「2019年箱根駅伝予選会」は10月13日朝9時35分に立川の陸上自衛隊立川駐屯地をスタートした。

第1応援地点、立川駅近くの高島屋横で、我々は選手を待つ。約30分後、先頭は独走の留学生。しかし、後続は、留学生と入り混じった集団が通過。我が中大選手は2人だけ、昨年は各レベルに合わせ3人まとまって走行していたが、中大選手はばらけていて、かすかな不安がよぎる。続々と各校の選手が通過する。中大選手上位10人が通過したのを見届け、第2応援地点の昭和記念公園に移動。

日本テレビで実況されていたので、自宅でテレビ観戦中の山崎司平さんから状況報告メールが逐次入ってくる。10キロ地点では5位という情報。

第2応援地点の成績発表会場の国営昭和記念公園は、昨年よりはるかに多い人で埋まり、ブルーの旗が目立ち、我が中央大学の白いのぼり旗が、少ないように感じられ、また不安がよぎった。オーロラビジョンでの実況中継は予選突破ラインの11位が山梨学院、10位が中大と報じている。11位以内に残れるか、期待と不安が交錯する。

11時15分、いよいよ結果発表。駒澤大学がダントツの1位でコールされる。2位以下が順次発表され、かたづを飲む思いで母校のコールを待つ。「7位 大東文化大学」残り4校…。一呼吸おいて「第8位 中央大学」とコールされると、中大関係者から一斉に大きな拍手が沸き上がった。我々も互いに喜び合い、中大関係者の輪へ移動し、歓びと安堵の気持ちで、校歌を斉唱し、祝勝会会場の立川駅前の「がんこ」に9名が向かった。

祝勝会は、まず、予選突破の祝杯をあげ、駅伝談義、自己紹介等と歓談に花が咲いた。お店からサプライズで予選突破記念の尾頭付きのタイの塩焼きがプレゼントされた。

来年1月3日の箱根駅伝復路応援での再会、ならびに、本選での中大選手の活躍を願い、一本締めで締めて散会した。

相続・贈与に強い税理士事務所!!

3名の税理士が
親身になって対応します。

おざわ会計　税理士・小澤　龍次

〒193-0835　東京都八王子市千人町 1-10-18
TEL　042-663-6683
携帯 090-1107-1723

第27回ホームカミングデー

2018年10月7日(日)

秋空の下50名参加

千葉　幸嗣（商）

秋晴れどころか30度超えになった多摩キャンパスに、50名近くの49年白門会の会員やご家族が集いました。

今年も場所取り隊として山崎会長を筆頭に担当役員が8時前からモノレール側入口門に集合し、開門と同時にメイン会場のテーブル席（36名分）を確保しセッティングしました。山崎会長制作のテーブルクロスでテーブルを覆い、買い出し隊が買ってきた焼き鳥・ソーセージ等のおつまみやビール・ワイン等の飲み物を並べました。49年白門会の席は豪華にみえ（笑）、10時半には開宴準備が整い他支部と比べて準備の速さが目立ちました。

クレセントホールでは10時から歓迎式典があり、応援部の校歌斉唱でスタート。その後、学長挨拶や親子三代表彰等のセレモニーがありましたが、クレセントホールを後に49年白門会テーブルへ。

11時に乾杯の予定でしたが、会員も25名ほど集まったのでちょっと早めに山崎会長の音頭で乾杯し懇親会をスタートさせました。この時点で49年白門会テーブル席の人数は周りの支部を見回しても圧倒してました。

正午になると懐かしい顔の会員が次々とお酒や出店ブースで買い求めたおでん等の差入れを持ってテーブルに参集してきました。名古屋から参加の加納幹郎（経）さんは、奥さん及び長男夫婦とお孫さんまで三世代家族で手土産を持って駆けつけてくれました。

3世代で参加の加納さん

キャンパス内で行われている白門寄席やお茶会、レスリングやラグビーの公開練習を見学に行く会員もおりました。酔いにつれ御茶ノ水や後楽園時代のこと、わが身の他愛ない話で盛り上がり、最高潮に達したころ「にぎやかですな～」と久野学員会会長が我々の席へ挨拶に来てくださいました。元気旺盛な年次支部だと実感したのではないでしょうか。

メインステージではスウィング部OBのバンド演奏やOG舞踊家の演舞や東京五輪音頭が披露されメイン会場を和ませてくれました。応援部・チアリーダーの演舞は迫力があり、会場の参加者を引付けました。

15時30分からはお待ちかねの抽選会が始まりました。この時間になると酔いが醒めるという多くの49年白門会のメンバーがマジ顔になった瞬間でした。「帰りは1等のスクーターに乗って帰るのだ」と意気込んでいたメンバーもいましたが、やはり酔いは醒めていなかったようです。そんな中、49年白門会からは成毛誠(法)さんが唯一、5万円の商品券を引当てましたが、その場で49年白門会に寄付する旨申し出がありました。

16時過ぎに解散。日中暑かった多摩キャンパスには心地よい秋風が吹いていました。楽しい一日をありがとうございました。また来年！

後編記集

お酒の前に歩こーでした

今回は5人ものスポンサーの方々のお陰で会報を10頁に増やす事が出来ました。会社のPRや新築の自宅のPR等、まずは有り難くお礼申し上げます。

広報部員になって初めての仕事が編集後記を書く事でした。3年前の総会で入会して早や3年、すぐに役員になりホームカミングデーの買い出しに参加、幹事から副幹事長になり今回から広報部員も兼任する事になりました。入会したからには何か貢献出来る事があればと思い何でもOKしてきましたが、今回は更に「歩こー(る)会」の幹事まで引き受ける事になり少々荷が重くなってきました。

元々お酒はあまり飲める方ではありませんでしたが、昨年の総会の時にジャンケンで白霧島を獲得し大事に持ち帰り毎日少しずつライムを絞って飲みました。それが思いがけずに美味しくて、それから毎日の寝酒が楽しみになりました。白から黒、赤霧島まで飲み比べましたが差がわかるほどの呑兵衛にはまだ到達していません！

是非皆さんとお酒を飲み交わすまでの酒呑みになりたいものです！「歩こー(る)会」で、お会いしましょう！

（安室澄子）

広告募集

この会報を作る費用の一部を皆様からの広告収入で賄いたいと思います。1段の半分のスペースを5千円で提供いたしますのでご利用ください。原稿のデータがあればそのまま使いますが、なければ広報部がお手伝いいたします。

お申込み、ご相談は事務局までにご連絡ください。

労務問題でお悩みのお子様や
ブラックバイトで困っているお孫さんの相談に乗ります

サザンフラックス社会保険労務士法人

社会保険労務士　益　田　耕　二

Tel: 03 5401 7545

〒105-0013　東京都港区浜松町 1-24-5
第3河原ビル3階

今号からの広報部員は左記の通りです。

大竹力三（法）　柴田　明（理工）
高橋和幸（法）　千葉幸嗣（商）
福松征男（法）　宮川　保（経）
安室澄子（文）　（五十音順）